

## 高規格幹線道路における追越区間付き2車線構造の導入

**概要：** 将来の計画交通量が少ない2車線の道路において、必要なサービス速度（例えば80km/h）を確保する構造基準を新たに導入

追越区間付き2車線構造の導入

（サービス速度を確保するために、必要に応じ追越しのための付加車線を設置）

あわせて、インターチェンジの簡素化、最大縦断勾配や最小曲線半径の緩和を図る

**効果：**

**道路整備のスピードアップ**

・工期が短縮され、効果が早期に得られる。（2～3割短縮）

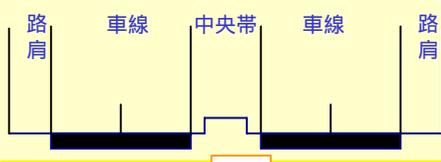
**コスト縮減**

・車線数を少なくすることにより用地費、盛土・切土量等のコストが削減（2～3割削減）

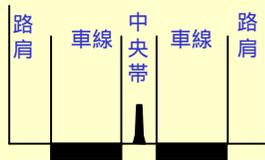
注）括弧内は試設計結果  
4車線に対する比率

・線形が緩和されることにより、トンネル・橋等のコストのかかる構造物が減少する（3～4割縮減）

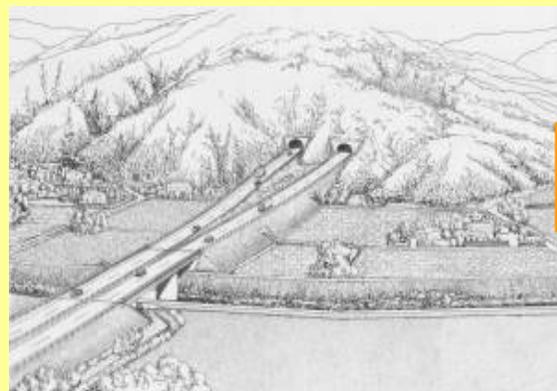
4車線の断面構成



分離2車線の断面構成



【従来の構造】



【地域に応じた構造】

